

高圧配電盤

自動検測器

可搬型KH-10A



使用イメージ



高圧配電盤自動検測器〈可搬型〉は、保護・操作連動を有する、受配電用の高圧配電盤を保守点検するための、可搬型自動検測器です。

検測作業は、本器と配電盤を所定のケーブルを接続するだけです。あとは登録した、プログラムに従って、自動的に、わずか数分で必要な検測を行い、検測のフローは表示器に、結果はプリントアウトします。

取り扱いに習熟は必要ありませんから、どなたにでも、間違いのない、効果的な保守点検ができます。

検測内容の登録は内部メモリーを使用し、160面（32面×5区分）の盤名を登録出来る様に改良しました。

表示器は読み易く、取り扱い易いタッチパネルに取り換えました。



SANKI

取り扱いの概要

- ・ 変電所、キュービクル内の電源（検測中停電しない、100V、50/60Hz）を検測器に給電します。
- ・ 高圧配電盤の短絡用カプラーを取り外し、連結ケーブルを接続します。
- ・ 内部メモリーには、高圧配電盤ごとに、その機能に適応した検測条件を、記憶させておきます。
- ・ 検測の種別（一括または個別）を選択し、「検測開始」の操作を行い検測を開始します。
- ・ 検測を始めると、検測不備の場合には、その内容が表示されます。点検して修復の後、再度検測を開始して下さい。
- ・ 検査項目ごとに「OK」または「NG」の表示をして、結果を記録紙にプリントアウトします。遮断器等が不応動のとき、その内容を表示「フオウドウNG」して、ブザーが鳴動します。

検測範囲

	検測種別	検測内容		検測結果		1単位の検測可能個数	故障表示のチェック
		継電器	遮断器	記録	判定		
過電流〔51〕	一括 個別	整定値	切の良否	動作時間	OK NG	4個以内	重故障
地絡 〔64〕 〔51G〕 〔67〕	D	〃	〃	〃	〃	3個以内	〃
	L	〃	—	〃	〃		軽故障
不足電圧〔27〕	〃	〃	〃	〃	〃	4個以内	—
過電圧〔59〕	〃	〃	入・切の良否	—	〃	1個	重故障
再閉路〔79〕	一括	〃	入・切の良否	動作時間	〃	1個	—
遮断器〔52〕	〃	—	〃	〃	〃	2個以内	—
電源切替	〃	—	〃	〃	〃	1個	—

〔注意〕 「一括検測」の試験電流は、倍率300%とし、動作時間により合否判定を行います。
「個別検測」の試験電流値は、倍率150%および300%の2段階切替として動作時間を測定、記録します。

仕様

	検測部	電源部
電源	単相交流 100V 1KVA 50/60Hz	
外形	アルミニウム製 570×380×260	
重量	28kg	
附属品	検測ケーブル・電源ケーブル・プリント用紙 収納箱（570×380×240）	



株式会社 **三輝製作所**

本社：〒110-0015 東京都台東区東上野1丁目28番12号 新御徒町KMビル 2F
 NTT: TEL 03-3831-4301 FAX 03-3831-4302
 JR: TEL 057-3779 FAX 057-3789
 大阪事業所：〒565-0803 大阪府吹田市新芦屋下4番17号
 NTT: TEL 06-6876-3571 FAX 06-6876-7607
 JR: TEL 071-3718 FAX 071-3718 (切替)

